

団体名:三鷹市大沢地域包括支援センター

活動内容:地域の高齢者の総合相談窓口



開設:2007年
代表者名:香川卓見
(センター長)

担当地域:
市内7カ所に設置されている
地域包括支援センターのうち
大沢地区を担当

運営団体:
社会福祉法人 楽山会
(三鷹市から委託)

高齢者の総合相談窓口として、三鷹市内に7箇所ある地域包括支援センターのうち、大沢地区を担当。国立天文台や調布飛行場などあり、緑が多く自然豊かな環境の反面、交通や買い物が不便な地域。センター職員は6人。今年度より、センターと市社会福祉協議会から1名ずつ、生活支援コーディネーター(2層)が配置されている。

東京ホームタウンプロジェクトの支援内容(2016年度)：伴走支援

支援対象事業：仮称「のがわの家」構想

三鷹市大沢地区の一戸建て住宅を活用した多世代交流の居場所づくり



目的：地域住民が地域住民のための多世代交流の居場所づくりができる
伴走支援内容：地域住民向けグループワーク等の企画・運営等支援
「地域貢献のために空き家を使いませんか」と住民からセンターに話があつたのがきっかけ。物件の付近は、地域のイベントなどを行う集会所までは遠く、参加者が集まりにくいのが課題だった。多世代交流の居場所づくりを思いつくものの、ノウハウがなく伴走支援を受ける事に。グループワークを重ね、地域住民が主体性をもって取り組めるよう、準備委員会を立ち上げた。